

カナダの金融市場動向 Weekly Report

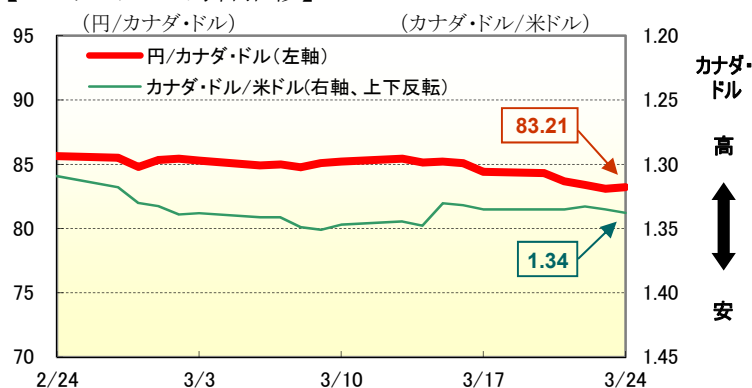
【2017年3月18日～2017年3月24日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円相場は下落し、カナダ5年国債利回りは低下しました。

米国のトランプ政権が提案するヘルスケア法案の議会通過が難航し、今後の政権運営に対する不透明感が高まったことから、米国の金利が低下し、カナダの金利もそれに連れて低下しました。また、円高が進展したことでカナダ・ドル円相場は下落しました。一方で、カナダの小売売上高が市場予想を上回る堅調な結果となったことは、金利の低下およびカナダ・ドル円相場の下落を抑える要因となりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年2月24日～2017年3月24日)



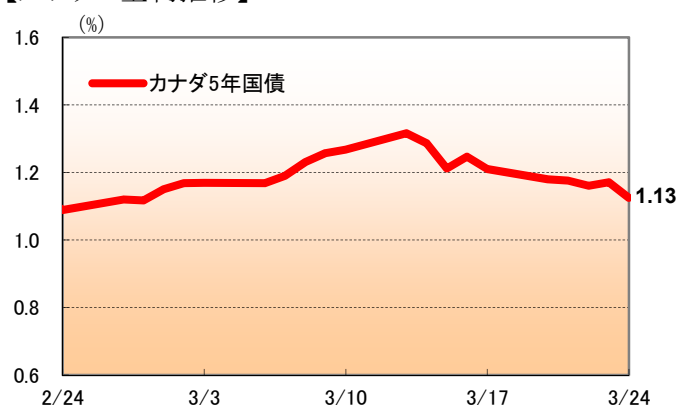
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週も、トランプ政権をめぐる市場の評価に左右されやすい相場展開が見込まれ、株式などのリスク資産の動向が金利や為替市場を動かす要因になりそうです。

米国ではFRB(米国連邦準備制度理事会)高官の講演が多数予定されており、今後の金融政策に関する発言に注目が集まります。欧州では英国のEU(欧州連合)離脱手続きが開始される見込みで、離脱方法の詳細に焦点が向かいそうです。カナダではGDP(国内総生産)の発表およびカナダ銀行(中央銀行)のポロズ総裁の講演が予定されています。

【カナダ 金利推移】 (2017年2月24日～2017年3月24日)



【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考)前回
3/21	毎月	2017年1月	小売売上高(前月比)	2.2%	-0.4%
3/24	毎月	2017年2月	消費者物価指数(前年同月比)	2.0%	2.1%
3/31	毎月	2017年1月	GDP(前月比)	-	0.3%
3/31	毎月	2017年1月	GDP(前年同月比)	-	2.0%

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>